

# 県北建設事務所所内技術検討会について

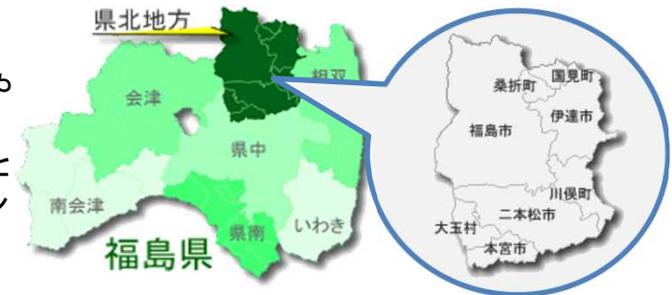
## 県北建設事務所内

### 1. はじめに

東日本大震災以降本県では、「復興元年」、「復興加速化」、「新生ふくしま胎動の年」というテーマを掲げ、県土の復旧・復興に全力で取り組んでいる。

その中で円滑に公共事業を進めるためには、設計段階で日々進歩している土木技術や各現場条件に適した工法設定及び仮設計画等がより重要度を増してきている。

そこで、県北建設事務所が実施する土木設計の中で、専門的かつ特殊な判断が必要となる特殊な工法や現場に適した仮設工法の検討が必要な案件等について、コンサルタントへの委託に加え、工事発注前に経験豊富な施工業者等のアドバイスを受けながら、適切な設計・施工計画を策定するため、昨年度、所内に所内技術検討会(以下「技術検討会」という。)を設置した。



### 2. 課題・経緯など

#### ■課題

・設計において、特殊な工法による施工や現場に適した仮設工法などで、専門的かつ特殊な判断が必要となる案件が生じている。

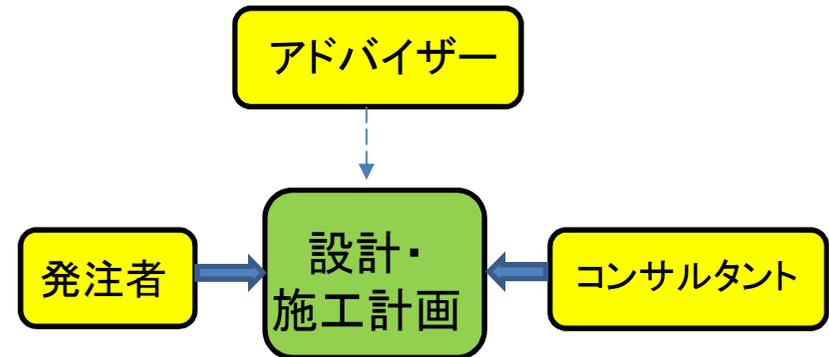
#### ■経緯

平成25年9月 5日 県北建設事務所所内技術検討会設置要領策定  
平成25年9月10日 覚書締結  
(福島県建設業協会県北支部、二本松支部、  
福島県地質調査業協会)

#### ■技術検討会内容

技術検討会では、必要に応じ外部の専門家(アドバイザー)からの意見をもらうことを試行的に実施した。  
具体的には、建設業協会(県北支部、二本松支部)や地質調査業協会にアドバイザーの派遣をお願いした。

○技術検討会実施フロー



【所内技術検討会実施イメージ】



蛭川河川改修前

### 3. 具体的な実施内容

#### ■平成25～26年度実施内容

- 河川改修に伴う市道橋の架替工事(3件)について技術検討会を開催した。  
(住宅密集地での施工、施工期間の制限等、施工条件が厳しい箇所)

#### (1) 検討箇所

- ①一級河川蛭川 町頭橋 (福島市瀬上町字街道東地内)
- ②一級河川小浜川 下川西橋 (二本松市小浜地内)
- ③一級河川安達太田川 下田橋 (二本松市太田地内)

#### (2) 工事概要

- ①ボックスカルバート工1基、地盤改良工1式
- ②橋梁下部工、上部工1式、開削護岸工1式
- ③橋梁下部工1式、護岸工1式

#### (3) 検討事項

- ・現場条件や実作業に合致した施工計画(施工順序など)及び仮設計画(河川切回しなど)
- ・非出水期内の工事完了を図るための工事工程
- ・工事期間中の一般者に対する安全対策



現地調査状況(蛭川)



技術検討会状況

### 4. 設計・積算への反映結果と効果

#### (1) 蛭川

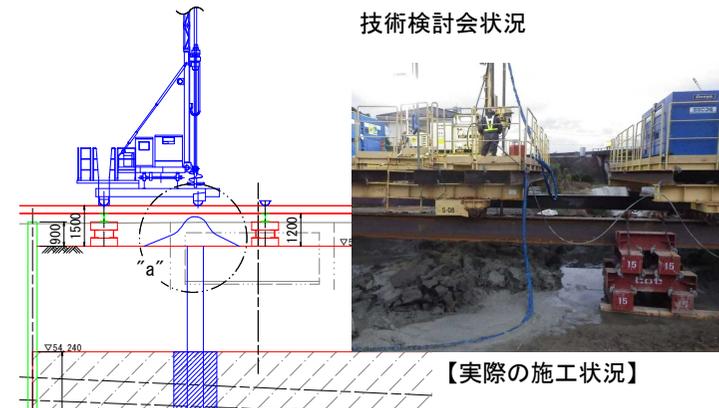
- ・地盤改良時の土留内埋戻し高さについて検討する等、設計に反映し発注を行った結果、平成26年8月に契約となり現在鋭意施工中である。

#### (2) 小浜川

- ・橋梁下部工施工時の仮設工について、現場で対応可能な工法等を設計に反映し来年度(平成27年度)に発注予定である。

#### (3) 安達太田川

- ・河川仮締切の見直し等を設計に反映し、平成26年10月に発注を行ったが、入札不調であった。なお、技術者不足及び鉄筋・型枠工の手配が困難なことが不調の原因とみられ、当箇所については来年度(平成27年度)に再度発注することとしている。



【実際の施工状況】

【設計・積算への反映(蛭川)】  
地盤改良時の土留内埋戻し高さを見直した

### 5. おわりに

技術検討会において、アドバイザー(施工業者側等)の意見を聞き設計等に反映させるという取り組みは、現場に精通している施工業者側が持つ技術力や情報を発注者側及びコンサルタントが共有することで、現場に合った適切な設計、積算となり、工期短縮・コスト縮減等にも繋がる。また、入札不調対策にもなることから、県北建設事務所として必要な案件について今後も引き続き取り組んでいきたい。